

町議会報告 (六月定例会)

過疎地域振興計画を議決

46年度一般・特別各会計の補正も

第三回町議会定例会は、さる六月十八日に招集され、会期二日間

という当初の予定にかかわらず、専決処分八件を含む合計十九件

の審議をスムーズに消化、引き続き、町政に対する一般質問を行

なつて、結局、この日一日で散会しました。案件は、いずれも可

決、承認されましたが、おもなものは、税条例と国民健康保険条

例の一部改正、過疎地域振興計画の策定、一般会計と四特別会計

の第一回補正、白倉小建繕工事請負契約、有機水銀中毒補償請求

裁判の早期、公正判決に関する決議(議員提出)などです。

専決処分

あわせて八件を承認

午前九時に始まった定例会は、専決処分した事件の承認から審議にはいりました。

専決処分八件の内訳は次のとおりです。

- ・ 税条例の一部改正
 - ・ 四十五年度一般会計補正予算
 - ・ 四十五年年度国保事業特別会計補正予算
 - ・ 町道認定
 - ・ 県交通災害共済組合規約変更
 - ・ 消防団員等公債組合規約変更
 - ・ 旧旧市町村職員恩給組合規約変更
 - ・ 県町村人事務組合規約変更
- このうちの一般会計の補正は、地方債の増減、町税の増収、交付金の増収等に起因したもので、都合二百三十四万四千円を追加した結果、最終的には五億四百四十二万二千円という規模になりました。
- また、町道路線の認定は、高原

田環状線および野口西補線の二つであり、あとの県関係各種組合の規約変更は組織団体数の増減に

関するものです。

以下、一般質問までの審議の様子は次のとおりでした。

白倉小改築

丸山工務所の手で

国民健康保険条例の一部改正

助産費として支給する額を従

来の三千円から一万円に、保険

料の賦課限度額を五万円から八

万円に改めたものです。

過疎地域振興計画の策定

適用を受けることが決まった

過疎地域対策緊急措置法の規定

に基づいて、四十九年度までの

四か年間の計画を定めました。

(その骨子等については、五月

号の町政コーナーで紹介したと

おりです。)

四十六年度一般会計補正予算

土木費、災害復旧費を中心に

三千四百八十四万二千円を追加

所と契約するために議会の議決を求めたものです。

県町村職員退職手当組合規約の一部改正

組合を組織する地方公共団体

の数の増減に伴う規約改正が内

容です。

有機水銀中毒患者による補償請求

裁判に関する決議

新潟地方裁判所の審理がすみ

やかに進行し、早期に、かつ公

正な判決のくだることを、決議

をもって強く要望するというも

のです。

小脇養蚕協業桑園造成並びに農道

造成に関する請願

昨年十二月定例会で産経委員

会に付託以来継続審査していた

もので、今回採択されました。

五氏が

一般質問に立つ

日程の最後に行なわれた町政に対する一般質問では、五人の議員が演壇に立ちました。

そして、過疎法の適用と関連法

の運用について(平野圭二議員)

公害対策について(数藤互議員)

他町村とを結ぶ県道改良について

(滋野一郎議員)、上越新幹線誘

致について(登坂茂議員)、中堅

青壮年による農業研究機関の育成

について(須藤寛蔵議員)の各質

問に対して、根津町長は、要約す

ると次のような答弁を行ないまし

た。

① 過疎法と、これに関連する国

県の施策や法律を効果的に取り

入れ、健全な町づくりのために

努力をかたむける。

② 汚水処理をはじめ新しい生活

課題については、住民ひとり残らず強い関心を持って解決してゆく必要があるが、環境整備を含めて、町も関係県の密接な連携のもとに公害問題と取り組む⑧ 地方道の改良は、こんごも必要度の高いところから計画的に進めてゆき、その段階に応じて他町村とも協議しなければならぬと考へる。

④ 新幹線誘致運動は、関係市町村と歩調を合わせて継続してゆく方針である。

⑤ 農業経営の近代化をはかり、後継者を育成することはゆるがせにできない。すでに、各分野にいくつかのグループもあり心強いことだ。後継者会議を作るというプランも持っている。

以上

川西町職員募集

明年4月1日採用の町職員を次の要領で募集します。

職 種	人 員	資 格	勤 務 場 所	申 込 み	採 用 方 法
保 母	5	昭和30年4月2日以前に出生の女子で、保育資格を有する者(明年3月31日以前に取得見込みを含む)	町立千野保育園	採用申込書に上履調書(保育資格については最終証明書を添え、8月10日に給務課へ申し込むこと。	8月に面接試験を行なう。
給食炊事員	1	昭和7年4月2日以前に出生の女子	町立上野保育園		選考による。

(注) 1.採用申込書、履歴書及び身上調書の各用紙は役場にありませう。
2.詳しいことは給務課へお尋ねください。

第21回社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は、すべての人々が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した者あるいは非行青少年の更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせながら、明るい社会を築いてゆこうという全国、全国的な運動です。この運動をやりとげるためにはどうしても、みなさんの暖かいご認識とご協力をいたたかなければなりません。

ことしも法務省の主旨のもとで県知事が実施委員長となって、目下、運動を推進中ですが、その一環として、例年のように「愛の協力封筒募金」を行ないますのでご協力をお願いします。

募金は、一世帯三十円以上を目標にした任意募金で、期間は七月中となっております。

みなさんから寄せられた浄財は県の保護司連盟に送り、保護観察強化運動、地域浄化運動、更生援助資金などに使われるほか、その一部が町にも配分されて、保護司会や更生保護婦人会等の活動資金にふりむけられます。

募金用の封筒がお手元に届きましたら、ぜひともご協力をお願いします。

出かせぎ前後の健康診断

下旬に仙田地区で実施

最近、出かせぎをされるかたのなかに、健康をそこない病気に

かるといふ例が多くみられ、問題になっていますが、それらのうちには、就労前あるいは就労中に健康診断を受けることによって、未然に防げる病気も少なくありません。

町では、数年前から出かせぎをされる皆さんの健康診断を実施してきました。

ことしも、次の日程で実施します。

すから、今春出かせぎから帰ったかたや今秋出かせぎをする予定のかた等、ひとり残らず受診してください。

第一次検診
七月二十六日
九時半～十一時、白倉小学校
校で(白倉地区)
一時半～三時、赤岩小学校
で(赤谷・岩瀬・大倉地区)

七月二十八日
九時半～十一時および一時半～三時、仙田へき地診療所(中仙田・田戸・越ヶ沢の各地区)

第二次検診
二次検診の結果、精密検査が必要となったかたが対象です。

郵便局から
お年五つぎ年賀はがきの賞品引き換えは、今月十九日(月)で締め切りになります。締め切りまぎわになり、賞品の品切れによって、現物の届くまで日数を要することがあります。すばらしい賞品があたつてはいいませんか。局で番号を確かめてみてください。

七月三十日
九時半～十一時および一時半～三時、赤岩小学校で
なむ、出稼労働者手帳のあるかたは持参してください。

投票率、もうひとふんばり

参院選終わる

さる、六月二十七日に行なわれた参議院議員通常選挙における川西町の投票、開票の結果は次のとおりでした。

選挙当日の有権者数
男子……三、六二八人
女子……三、九六一人

投票者数
男子……三、九〇三人
女子……三、三〇五人

無効票が七七九票(地方区)
合計……七、五八九人

投票の内訳
有効投票……五、三二九票
無効投票……七七九票

候補者別得票
杉山善太郎……二、七九四票
佐藤隆……二、三二七票
伊藤千穂……二、二八票

投票の内訳
有効投票……五、四〇八票
無効投票……六、九九票

候補者別得票
按分票の一票以下は切り捨て。得票数の同じ場合は届出番号順による。

藤井恒男・七三一、堀木又三・三三〇、宮崎正義・三五一、野上元三・三三七、水口宏三・三〇四、山内一郎・二五六、山本茂一郎・二五一、安西愛子・二一六、山崎昇一・一九六、橋正俊・一八九、野々山一三・一六四、田英夫・一五四、伊部まこと・一一三、石本しげる・一〇四、塚田大順・九七、徳永正利・九二、横山フク・八五、小林章・八〇、平泉渉・七七、鈴木力・七五、田中すみ子・七一、一電青ティホー・五九、望月優子・五九、山高しげり・五九、西村尚治・五三、中村利次・五二、青木一男・五〇、柏原ヤス・四九、片山正英・四六、佐藤榮作・四〇、内藤善三郎・三九、村上コウタロウ・三八、ひがき徳太郎・三七、岡本信・三七、山本スギ・三四、鹿島俊雄・三一、佐藤さんぞう・二七、栗林卓司・二七、黒住忠行、賀秀則、以上各〇。



役場(四階議場)における開票風景、七時半に始めて開票事務のすべてが終了したのは翌日の未明ちかくでした。

得票なしは十五人(全国区)

投票者数
男子……二、九〇三人
女子……三、三〇四人
合計……六、二〇七人

棄権者数
男子……七、二五五人
女子……七、五七七人
合計……一、四八二人

投票率
男子……八〇・〇二%
女子……八〇・八九%

投票の内訳
有効投票……五、四〇八票
無効投票……六、九九票

候補者別得票
按分票の一票以下は切り捨て。得票数の同じ場合は届出番号順による。

川談志・一〇、細川もりひろ・九吉永二千六百年・九、山本伊三郎・八、さいご隆盛・八、柴田利右エ門・七、山田てつ・七、けい野としお・六、高見圭司・六、野田耕作・六、瀧通誠・六、田村理一・五、星野力・四、田中ウ一、四、夏目通利・四、玉置和郎・四、矢追秀彦、川野三暎、大西末子、原田立、須藤五郎、とうごうけん、加藤進、月亭可朝、以上各三。中西幸男、古賀賢四郎、みよのほら貞光、木崎國嘉、なみとし徳治郎とは照司、宮公、以上各二。荒川幸男、星野寛、坂口登、山本ただし、えびな竹一、戸枝義明、吹田文三郎、たかはしひでお、河野守安、山中精一、中尾たつよし以上各一。吉川藤三、志水源司、岡愛城、三浦光保、菅田操男、青山雅彦、長沢宗八、三島直之、松田照久、織田大蔵、羅田志一、猿樂一天、谷崎登、川出庄一郎、伊賀秀則、以上各〇。

あなたの奥さんにも 年金の喜びを!

拠出制の国民年金が、殆足以来十年を経過し、年金証書を手に入らず笑顔といった人達の続出して最近です。

ところで、あなたは国民年金に加入しているでしょうか。

国民年金任意加入のすすめ

国民年金は、サラリーマンの奥さんや家庭の女性が加入することのできるただ一つの年金制度です。加入の希望があれば、いつでも申し出たその日から加入でき、加入は早いほど有利です。あなた自身の年金を受けるため

に、そして、あなただけが年金制度から取り残されるということのないように、未加入のかたは、いままぐ加入の手続きをしましょう(電話による申し込みでも受け付けます。)

保険料は、毎月四百五十円ずつ六十歳になるまで納めていた年金は、保険料を納入した月数に三百二十円を乗じた額が、六十五歳から毎年支給されます。

所得比例加入のすすめ

年金額を計算する場合は、前記のように、保険料を納入した月の



国民年金証書の交付

拠出制の交付第一号ということで、さる六日、高橋トイさん(学校町)、樋口ツ子さん(上野)、吉井フクさん(仁田)の三人に町長室で証書を交付しました。

数によって算出しますが、すでにお知らせしたように、老後の保障として、余分の保険料を納めてもよいから、より高額の年金を受けたいという人のため、所得比例制度というものも昨年十月から実施されています。

現在の保険料月四百五十円に計算していただく額が三百五十円であれば、これに対する年金額は三百五十円を納めた月の数に百八十円を乗じたものを、六十五歳から毎年、加算支給します。

いかがでしょうか。加入は申し出をしたときから始まり、いつでもやめることができます。

ご希望のかたは、なるべく早めに係までご連絡ください。国民年金について、不明の点や疑問のことがありましたら、遠慮なさらず、直接、係へ申し出てくださいます。

(社会課年金係)

おめでとーん

清水君 交通安全ポスターで 県の最優秀賞に

新潟県交通安全運動の一環として県で実施した交通安全の作文・ポスター募集の結果、ポスターの小学校高学年の部で上野小学校六年清水利浩君の作品が最優秀賞に選ばれました。

また、同じ上野小学校六年渡辺悦子さんと仙田中学校三年長谷川宏子さんの作品(ポスター)も、それぞれ佳作に入選しました。最優秀の清水君は、きょう十日新潟市の県民会館で開かれる交通

安全宣言記念県民大会の席上、表彰されることになっています。

公民館に

机を寄付

室島・川崎さん

室島の川崎与太郎さん(七十四歳)が、このほど、部落の公民館に机十二脚を寄贈しました。

一脚三千五百円もする机だそうですが、川崎さんは、四十一年十月から支給を受けていた老齢福祉年金を積み立てており、その一部をさいて寄贈してくださったものです。

民俗資料

【六月分】

- *入手品
- 古文書、はきもの移り変わり一式、馬のくら(荷付けくら・成馬のくらと子馬のくら)、はも
- *寄贈者(敬称略)
- 高橋久蔵(三頓)、丸山重吉(中央町)、星野登(野口)、須藤秀雄(下原)

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

- 山家 文良 文夫 二男 木落
- 小海佐 智子 久男 二女 木島
- 澤口 幹夫 保夫 長男下平新田
- 渡邊 裕美 武久 長女 鶴吉
- 丸山かわり 幸吉 長女 木島

- 藤原 浩 芳信 二男 仁田
 - 龍澤 実花 実 二女 神社町
 - 丸山 絃 明 長男 上野
 - 滋野 秀昭 勝 二男 野口
 - 南雲 典子 利夫 長女 中屋敷
 - 高橋 丈夫 福藏 長男 室島
 - 高橋 真 實義 二男 發電所通
 - 青木美保子 保 長女 上野
 - 服部由季子 了 二女 野口
- たかさこーり円満に
- ◎新郎 片桐 正也 小白倉
 - ◎新婦 中條 博子 大倉から
 - ◎新郎 高橋 一郎 赤谷
 - ◎新婦 遠藤 栄子 福島から
 - ◎新郎 長谷川健一 大白倉
 - ◎新婦 岡島キヌエ 大白倉から
 - ◎新郎 藤田 勇夫 榎原
 - ◎新婦 島崎 恵子 東京から
 - ◎新郎 丸山 隆太 原田
 - ◎新婦 増田スミ子 原田から
 - ◎新郎 田中 健吉 仁田
 - ◎新婦 小杉 洋子 十日町から
 - ◎新郎 高野 勇 室島
 - ◎新婦 寺倉加代子 岐阜から
 - ◎新郎 上村 幸一 下平新田
 - ◎新婦 大口ミサ子 津南町から
- 早天—こめい福を折る
- 高塚 コメ 仁田 六七
 - 関口源治郎 学校町 六七
 - 小幡 セン 仁田 七〇
 - 桑原 ナヲ 神社町 七一
 - 高橋 ツヨ 赤谷 七四
 - 数藤 フク 沖立 七六
 - 星名 トイ 上野 七八
 - 小林 タツ 中仙田 七九
 - 平野 長松 上町 七九
 - 小柳 儀助 元町 八〇
 - 高橋 キヨ 高倉 八〇
 - 齋木 ハナ 小島 八四

納税メモ

今月は
固定資産税
第二期分の納期です。
* * *
町全体 四十六年度の
では 固定資産税は
町全体で八千
百九十三万八千円になり、そ
の内訳は次のとおりです。
◎一般個人分(三六%)
二九八五万〇千円
◎国鉄分(五九%)
四八三二万五千円
◎電力会社分(二%)
一六九万九千円
◎一般法人分(三%)
二〇六万四千円



かわにし 俳壇

太田白南風選
小白倉 江口凡石
○梅雨となる天恵の中機に生く
露の葉に三つ四つ梅初さきり
梅雨晴れ間八ツ手の若葉日に光
る 松風園 南雲文峯
○下校尻にアカシヤの花散り急ぐ
石楠花の花咲く頃や梅雨の入り
八ツ手の葉梅雨を迎えて艶やか
に 元町 金子鉄舟
夏足袋に下駄新しき女衆
夏袴をしのかと締めて退院す
夏空に干し吹かれたる浴衣かな
小白倉 片桐玉章
髪洗うひまなく夏上族す
釣り裏れて鯛の囁く帯り道
参道に輝なく杉の幹太し